

京都大学大学院人間・環境学研究科修士課程入学試験問題例

1 次試験 専門科目 (2.心理学)

(注意) 解答は、設問(ローマ数字のⅠ、Ⅱ、Ⅲ……)ごとに別の解答用紙を用いること。

以下の設問Ⅰと設問Ⅱに解答しなさい。すべて日本語で解答すること。

設問Ⅰ. 次の語句から2つを選んで、説明しなさい。どの語句を選んだかを明記すること。

- ①文化的自己観
- ②正統的周辺参加
- ③自己中心性(ピアジェ)
- ④行動物(ウェルナー)
- ⑤メタコントラストマスキング
- ⑥新近性効果
- ⑦セルフハンディキャッピング
- ⑧高コンテクストなコミュニケーション

設問Ⅱ. 次の4問から1つを選択して解答しなさい。どの問題を選択したかを明記すること。

(A) 視覚探索課題を用いた研究が視覚情報処理の並列性、系列性に関してどのようなことを明らかにしてきたのか、また、まだ解明されていない問題は何かを論述しなさい。

(B) これまでの発達心理学において、子どもの心の育ちの様相が十分に明らかにされてこなかったのは、従来の枠組みにいかなる前提が孕まれていたからか。それに代わる枠組みがいかなるものになるかという方向性を示しながら論じなさい。

(C) グループ・ダイナミックスの規範理論に基づいて、意味と規範が成立するメカニズムを説明しなさい。

(D) 同調が起こるプロセスについて少なくとも2つのメカニズムに言及しながら説明しなさい。